



2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年9月30日

上場会社名 株式会社西松屋チェーン

上場取引所 東

コード番号 7545 URL <https://www.24028.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大村 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 春井 克公

TEL 079- 252- 3300

四半期報告書提出予定日 2020年10月2日

配当支払開始予定日

2020年11月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の業績(2020年2月21日～2020年8月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	80,411	12.7	6,446	189.5	6,583	170.3	4,488	222.9
2020年2月期第2四半期	71,352	3.2	2,226	28.8	2,435	26.1	1,390	32.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	72.29	
2020年2月期第2四半期	22.28	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	114,103	63,899	55.8
2020年2月期	104,428	60,758	57.8

(参考)自己資本 2021年2月期第2四半期 63,688百万円 2020年2月期 60,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		10.00		11.00	21.00
2021年2月期		11.00			
2021年2月期(予想)				11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年2月期の業績予想(2020年2月21日～2021年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	9.1	8,500	345.3	8,800	274.6	5,648	424.1	90.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	69,588,856 株	2020年2月期	69,588,856 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	7,493,937 株	2020年2月期	7,494,537 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	62,094,705 株	2020年2月期2Q	62,391,249 株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)を算定するための期中平均自己株式数については、「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)(資産管理サービス信託銀行株式会社より2020年7月27日付で商号変更)が所有している当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛やインバウンド需要の消滅などにより、国内の消費活動は落ち込み、景気の先行きは不透明感を増している状況にあります。

当社におきましては、2020年4月7日に日本政府による緊急事態宣言が発出されたことにより、一部の店舗におきまして、やむを得ず休業または営業時間を短縮しましたが、生活必需品を扱っておりますので、全国の店舗におきまして、感染防止に最大限留意して営業を続けてまいりました。

このような環境の中、当社は、北海道から沖縄までの全国47都道府県に、お客様にとって便利で標準化された店舗網の拡充を進めるため、23店舗の新規出店を行いました。また、一方で不採算店舗の閉店やリプレースも積極的に進め、21店舗を閉鎖いたしました。以上の結果、第2四半期末の店舗数は1,008店舗となっております。

商品別の売上高の動向におきましては、雑貨部門は粉ミルク、ベビーフードなどの食料品、紙おむつ、ウェットナップなどの消耗品、玩具など室内で使用する商品が好調でありました。衣料部門につきましては、ベビー・マタニティが好調であり、子供衣料は、緊急事態宣言の解除や気温の上昇に伴い夏物衣料が大きく伸長しました。

売上総利益におきましては、売上高の増加に加えて、値下げロス率の減少で売上総利益率が改善したことにより、増加となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、インターネット販売に係る送料や水道光熱費などの経費が減少したことにより、230億3千7百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は804億1千1百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は64億4千6百万円（前年同期比189.5%増）、経常利益は65億8千3百万円（前年同期比170.3%増）となりました。また、四半期純利益は44億8千8百万円（前年同期比222.9%増）となりました。

当第2四半期末店舗数1,008店舗の地域別の状況は、北海道地区46店舗、東北地区88店舗、関東地区275店舗、中部地区169店舗、近畿地区180店舗、中国地区72店舗、四国地区37店舗、九州・沖縄地区141店舗となっております。

なお、当社の事業内容はベビー・子供の生活関連用品の販売事業の単一セグメントのみであるため、セグメントごとの業績の状況の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は1,141億3百万円と前期末から96億7千5百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が99億4千4百万円増加したことなどによりです。

当第2四半期末における負債は502億4百万円と前期末から65億3千4百万円の増加となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が18億8千4百万円、電子記録債務が15億3千万円、未払法人税等が19億5千5百万円増加したことなどによりです。

当第2四半期末における純資産は638億9千9百万円と前期末から31億4千万円の増加となりました。これは、主に四半期純利益44億8千8百万円による増加の一方、配当金の支払6億8千3百万円やその他有価証券評価差額金が4億7千万円減少したことなどによりです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ、99億3千3百万円増加し、第2四半期末残高は520億3千1百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、114億5千9百万円の増加（前年同期比100億3千1百万円の収入増加）となりました。これは、主に税引前四半期純利益が66億4千3百万円となったことや、仕入債務の増加が38億5千3百万円となったことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、5億4千8百万円の減少（前年同期比9億3千6百万円の支出減少）となりました。これは、主に固定資産の取得による支出9億3千7百万円や建設協力金及び敷金・保証金の差入による支出1億8千5百万円があった一方で、約定による建設協力金及び敷金・保証金の回収による収入が5億9千3百万円あったことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、9億7千1百万円の減少（前年同期比9億8千1百万円の支出減少）となりました。これは、主に配当金の支払額が6億8千3百万円あったことや、リース債務の返済による支出が1億4千7百万円あったこと、割賦債務の返済による支出が1億4千万円あったことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月20日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年2月20日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,360	51,304
売掛金	3,398	3,312
商品	27,507	26,979
未着商品	941	1,544
預け金	737	726
その他	1,803	1,856
流動資産合計	75,747	85,723
固定資産		
有形固定資産	10,398	10,768
無形固定資産	1,027	1,097
投資その他の資産		
その他	17,281	16,541
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	17,254	16,514
固定資産合計	28,680	28,380
資産合計	104,428	114,103
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,093	11,978
電子記録債務	24,051	25,582
未払法人税等	550	2,506
賞与引当金	693	725
設備関係支払手形	219	173
その他	4,707	5,811
流動負債合計	40,315	46,777
固定負債		
退職給付引当金	759	841
役員退職慰労引当金	339	339
資産除去債務	1,290	1,331
その他	964	914
固定負債合計	3,354	3,427
負債合計	43,669	50,204

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年2月20日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523	2,523
資本剰余金	2,406	2,406
利益剰余金	62,427	66,233
自己株式	△7,334	△7,334
株主資本合計	60,022	63,828
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	348	△121
繰延ヘッジ損益	33	△18
評価・換算差額等合計	382	△140
新株予約権	354	211
純資産合計	60,758	63,899
負債純資産合計	104,428	114,103

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年2月21日 至2019年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自2020年2月21日 至2020年8月20日)
売上高	71,352	80,411
売上原価	45,507	50,927
売上総利益	25,845	29,484
販売費及び一般管理費	23,618	23,037
営業利益	2,226	6,446
営業外収益		
受取利息	48	45
受取配当金	54	56
受取補償金	81	18
その他	62	80
営業外収益合計	247	201
営業外費用		
為替差損	26	53
その他	11	10
営業外費用合計	38	64
経常利益	2,435	6,583
特別利益		
新株予約権戻入益	-	168
受取保険金	-	18
特別利益合計	-	186
特別損失		
減損損失	83	35
店舗閉鎖損失	83	35
災害損失	-	21
解約清算金	-	35
特別損失合計	167	127
税引前四半期純利益	2,268	6,643
法人税、住民税及び事業税	961	2,248
法人税等調整額	△82	△93
法人税等合計	878	2,154
四半期純利益	1,390	4,488

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年2月21日 至2019年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自2020年2月21日 至2020年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,268	6,643
減価償却費	653	672
減損損失	83	35
災害損失	-	21
解約清算金	-	35
受取保険金	-	△18
新株予約権戻入益	-	△168
店舗閉鎖損失	83	35
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	27	32
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14	81
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△27	-
受取利息及び受取配当金	△102	△101
支払利息	4	3
売上債権の増減額(△は増加)	△282	85
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,707	△84
仕入債務の増減額(△は減少)	2,367	3,853
未払金の増減額(△は減少)	△119	△172
未払消費税等の増減額(△は減少)	64	769
その他	378	13
小計	1,705	11,736
利息及び配当金の受取額	61	70
災害損失の支払額	-	△14
解約清算金の支払額	-	△0
保険金の受取額	-	30
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△334	△358
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,428	11,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,277	△937
建設協力金及び敷金・保証金の差入による支出	△190	△185
建設協力金及び敷金・保証金の回収による収入	550	593
投資有価証券の取得による支出	△567	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,484	△548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△694	△683
自己株式の取得による支出	△999	-
リース債務の返済による支出	△156	△147
割賦債務の返済による支出	△101	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,952	△971
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,013	9,933
現金及び現金同等物の期首残高	45,769	42,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,756	52,031

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。